

# げんき

泉田小学校  
ほけんだより NO.21  
2013年12月10日

## 「お酒」のお話をききました！！

12月5日（木）に、本校の校医である穀野真一郎先生をお招きして、4年生を対象に、お酒についてお話をさせていただきました。参加した子ども達の感想の一部を紹介します。



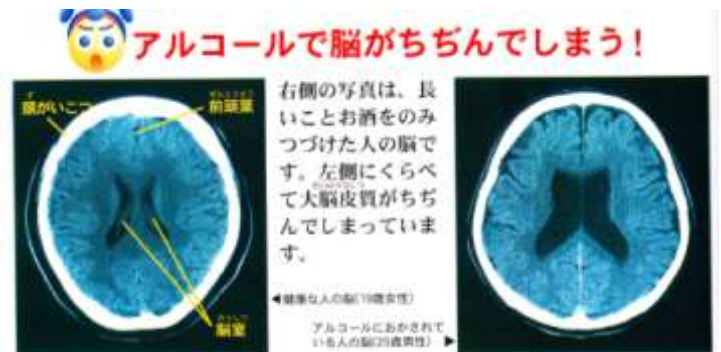
穀野真一郎先生

ぼくは、お酒をたくさん飲むと、ただ酔っぱらうだけだと思っていました。でも、本当はからだのいろいろな場所が悪くなることを初めて知りました。

お酒を一気飲みすると命を落とすことがあるということがとてもびっくりしました。

お父さんがふつうにお酒を飲んでいるから悪いことはないと思っていたけど、肝臓がカチカチになったり、脳が小さくなったりすることが分かりました。少し怖くなりました。

妊婦さんが、お酒を飲んではいけない理由は、おなかの中にある赤ちゃんもお酒を飲んでいるのと同じだからということを知ってびっくりしました。



お酒は、子どもが飲むと脳の成長がさまたげられたい、肝臓がかたくなったりして治らなくなるので怖いと思いました。

からだや心が成長している時期に、脳も、子どもの脳から大人の脳へと大きな変化をとげます。だから、そこにアルコールが入ると大変なのです。

お酒が思った以上にからだにダメージを与えるということが分かり、とても怖くなりました。でも、お酒は、悪いことだけでもないということもわかりました。『酒はほどほどに飲むといい薬になる』とテレビで聞いたことがありましたが、本当にそうなんだとわかりました。大人になってもお酒を飲むときは、あくまでほどほどにしようと思いました。

「酒は百薬の長  
されど 万の病は  
酒よりこそ起これ」

吉田兼好『徒然草』より